「オホーツク連携地域政策展開方針(H25~H29)」 に係る地域重点プロジェクトの概要

プロジェクト名	オホーツク・エリア・アイデンティティー(オホーツク A I)推進プロジェクト	オホ 1
推進エリア	オホーツク連携地域	

【趣旨・目的】

地域の一体化の醸成やオホーツクのアイデンティティーの形成と浸透を図り、「オホーツク」という言葉そのものが産業、観光、暮らしなどの各分野の取組に付加価値を与えるこ とを目指す「オホーツクAI」を推進する。

【施策展開の柱】

- ■「オホーツク」の地域イメージ向上対策の推進
 - ○市町村・民間企業との連携による地域内外に向けたオホーツクの魅力発信
 - ○オホーツクの統一イメージの普及
- ■豊かなオホーツクを保全する取組の推進
 - ○「流氷」など現在の豊かな自然環境を保全し次世代に引き継ぐ取組を推進
- ■オホーツク地域のブランドカ向上に向けた「食」関連産業の振興 ○「食」をキーワードとした付加価値向上等を分野横断的に推進

【主な取組状況(H25~)】

- ・地域で活躍している若手実務者たちと、今後の戦略的なAIの推進について検討する 会議を開催
- ・統一イメージとして作成したシンボルキャラクターやロゴマークをフルに活用し、首 都圏や札幌圏で開催されるイベントにおいて、参加する市町村や民間団体と一体とな ったプロモーションを実施
- ・「森林セラピー」基地等を活用した森林ウォーク・植樹会の実施や、独自に定めた「流 氷の日」や「オホーツクブルーの日」を核に地域住民が参加できるイベントを開催し、 環境に対するイメージを醸成し、オホーツク地域のイメージ向上を推進
- ・オホーツク食の地域ブランド形成ネットワークにおける、特定課題をテーマとしたワ ーキンググループ会議の開催

TO A DICE HIM I			
項目	現状値[[H23]	目標値[H29]
オホーツク地域の知名度	H 2 4	78.9%	85%
オホーツク・ロゴマークの使用申請数	H 2 4	40件	200件
オホーツク食の地域ブランド 形成ネットワーク参画団体数		64団体	180団体

プロジェクト名	地域資源を生かした新たな観光の創出・発信プロジェクト	オホ 2
推進エリア	オホーツク連携地域	

オホーツク地域の新たな観光の魅力づくりに向け、各種プロモーション活動等を通じてオホーツク観光の魅力を道内外に発信。さらに、アジアを中心とした外国人観光客誘致に向けたPRを積極的に展開するとともに、女満別空港、オホーツク紋別空港の利用客増加に向けた取組を推進する。

【施策展開の柱と主な取組】

- ■地域資源を生かした新たな観光の魅力づくり
 - ○エコツーリズムなど体験型観光の推進
 - ○新たな観光素材を活用した観光ルートづくり
 - ○道東地域が一体となった広域観光の促進 ○地元食材を生かした食の魅力アップ
- ■プロモーション活動の推進
 - ○オホーツクAIと連動したプロモーションの展開
 - ○アジアを中心とした海外へのPR強化
 - ○外国語パンフレットの作成、英語版ポータルサイトの構築
- ■空港利用客増加に向けた取組の推進
 - ○市町村や関係団体と連携した空港の利用促進活動の実施

【主な取組状況(H25~)】

- ・観光カリスマや通訳ガイド等の有識者を招へいしたセミナー等を実施
- ・自然、体験、歴史、平和学習などの素材を発掘し、地域の状況に合わせた教育旅行受 入体制や地域が連携した取組に参画
- ・市町村や民間団体と連携して近年増加している個人旅行者のうち、2次交通機関利用 者を対象とした意識、旅行動態等に係る調査分析を実施
- ・管内外の観光客に対するオホーツク地域の魅力発信のため、道央圏等におけるオホーツク地域の食と観光 P R 事業を実施
- ・海外の旅行雑誌・旅行会社担当者を招へいし、オホーツク地域の魅力を発信

1.地域にうんる 日保 1		
項目	現状値[H23]	目標値[H29]
観光入込客数(延人数)	799万人	8 5 2 万人
訪日外国人観光客宿泊延数 (人)	35, 183人	61, 900人
空港利用客数(人)	707, 239人	1, 030, 000人

プロジェクト名	豊かな地域資源を生かしたオホーツク農業の振興と体質 強化プロジェクト	オホ 3
推進エリア	オホーツク連携地域	

国際競争や国内農業の取り巻く環境の変化のほか、近年多発する異常気象にも対応するため、地域農業・農村を支える人づくりや、安全・安心な農作物の安定供給とこれを支える持続可能な農業生産を推進する。

【施策展開の柱と主な取組】

- ■地域の農業・農村を支える意欲ある人づくり
 - ○地域農業を担う経営体の育成
- ■安全・安心な食料の安定供給
 - ○環境と調和した農業の推進 ○安全・安心な食品づくり
 - ○食育などを通じた地場産物の消費拡大
- ■持続可能な農業生産の推進
 - ○農畜産物の付加価値向上 ○畑作経営の体質強化の促進
 - ○畜産経営の体質強化の促進

【主な取組状況(H25~)】

- ・新規就農者や農業青年・農村女性など多様な担い手を対象とした研修・交流会の開催
- ・オホーツク有機農業ネットワークへの参画推進と活動の強化
- ・GAP導入産地数の普及拡大を図るため、研修会等の開催による啓発活動を推進
- ・パン・中華麺用小麦の栽培技術の普及定着促進や病害虫に強い馬鈴しょの普及に向け た取り組みを実施
- ・自給飼料作物の作付面積が不足する地域におけるサイレージ用とうもろこしとライ 麦の二毛作作付体系の技術指導等の実施

項目	現状値[H23]	目標値[H29]
GAP (農業生産工程管理手法) 導入に取り組む産地数	13産地	26産地
Yes!clean表示制度登録生産集団数	41団体	65団体
パン・中華麺用小麦の作付面	1 0 %	20%
積シェア	(2, 820ha)	(5,700ha)

プロジェクト名	豊かな森林資源を生かした林業・木材産業等の健全な発展 プロジェクト	オホ 4
推進エリア	オホーツク連携地域	

オホーツクの豊かな森林資源の保続と林業・木材産業の活性化の両立を可能とする「持続可能な森林経営」を確立するとともに、林業・木材産業の普及啓発施設のネットワーク化によるオホーツクならではの木育運動の展開を通じて道産木材利用の理解を深め、健全 で活力ある林業・木材産業の振興を図る。

【施策展開の柱と主な取組】

- ■豊かな森林資源を持続的に使用するための森林経営の確立
 - ○森林資源の適切な管理の推進
 - ○集成材や乾燥製材などの高付加価値化製品の加工・流通体制の確立
 - ○森林認証や地材地消の取組を活用した地域材の利用促進と需要拡大策の取組強化
- 木育ネットワークの構築 ○森林ボランティア団体との交流や情報発信 ○木育広場や木育ランドの開催 ○木工教室や森林体験ツアーなどの開催

【主な取組状況(H25~)】

- ・森林経営計画に基づく施業の集約化による低コスト化の推進
- ・高品質な木材製品の安定的な体制づくりに向けた取組を推進
- ・オホーツク産材のブランド化に向けた取組を推進
- ・森林ボランティア団体との交流や情報発信を促進
- ・木工教室や森林体験ツアー等の開催
- ・木育ひろばや木育ランドの開催

1.地域にうんる 日保 1		
項 目	現状値[H23]	目標値[H29]
森林伐採面積以上の造林面積の	0.79	1.00
一確保(造林面積/伐採面積≥1)		
森林認証率	41.9%	80.0%
ブランド材出荷量	0 m ³	1,500m²
		•
地域住民との協働による森林	4,200人	4,800人
づくり参加者数	,	,

プロジェクト名	育てる漁業を核とした強いオホ-ツク水産業確立プロジェクト	オホ 5
推進エリア	オホーツク連携地域	

国内でも有数の生産力を誇るオホーツクの漁業の強みを生かし、安定的な漁業生産体制強化を基本として、衛生管理、鮮度保持や加工技術の向上などへの取組を推進し、国内外での競争力のあるオホーツク水産業の確立を図る。

【施策展開の柱と主な取組】

- ■安定的な漁業生産体制の確保
 - ○生産基盤の整備
- ■オホーツクブランドの強化
 - ○付加価値向上
- ■国内外に向けた販路の拡大
 - ○海外販路開拓 ○情報発信

【主な取組状況(H25~)】

- ・屋根つき岸壁、取排水施設など衛生管理に配慮した衛生管理型漁港の整備
- ・ウニなどの沿岸資源の増大に資する漁場の整備(囲い礁)
- ・試験研究機関が持つ鮮度保持技術や加工技術の普及や情報提供などによる付加価値向上への取組促進
- ・関係団体と連携してEU向け輸出生産海域指定の拡大を推進
- ・経済成長著しい東アジア市場への可能性について情報取集するなど、販路開拓の可能 性を検討

項 目	現状値[H23]	目標値[H29]
EU向けホタテガイ生産海域 の指定	1海域	3海域
衛生管理型漁業の整備	1漁港	5漁港